



公明党土浦市議団行政視察報告書

ジオパークを活用した地域づくりについて

視察先 島根県隠岐郡隠岐の島町、海士町、西ノ島町
日 程 令和6年5月8日（水）～5月10日（金）
参加者 平石勝司 吉田千鶴子 目黒英一 根本法子

視 察 先 島根県隠岐郡隠岐の島町

視 察 日 令和6年5月8日（水）12:30～17:00 5月10日（金）9:00～10:20

視察目的 2013年、世界ジオパークに認定された隠岐諸島の隠岐の島町、海士町、西ノ島町にて、ジオパークを活用し、持続可能な地域づくりへ向けた取り組みについての現地調査を行い、本市における今後の筑波山地域ジオパークを活用した持続可能な地域づくりへの取り組みや観光振興、教育事業などに参考にする。

案 内 者 一般社団法人 隠岐ジオパーク推進機構 業務執行理事兼事務局長 野邊 一寛様

視察内容 隠岐自然館：隠岐ジオパークビジターセンターにて、隠岐ジオパークの概要説明
玉若酢命神社：隠岐の総社、樹齢二千年の八百杉、隠岐造り神社本殿

地形と神社の位置について

壇鏡の滝：日本の滝百選、日本名水百選、巨岩信仰について

那久岬：明治時代と現在の灯台、島前と島後の違いについて

都万海岸：イカ寄せの浜、舟小屋と日本海の特徴について

水若酢神社：隠岐一宮、隠岐古典相撲、黒曜石を運んだ丸木舟

かぶら杉：隠岐4大杉の一つで日本海側の杉

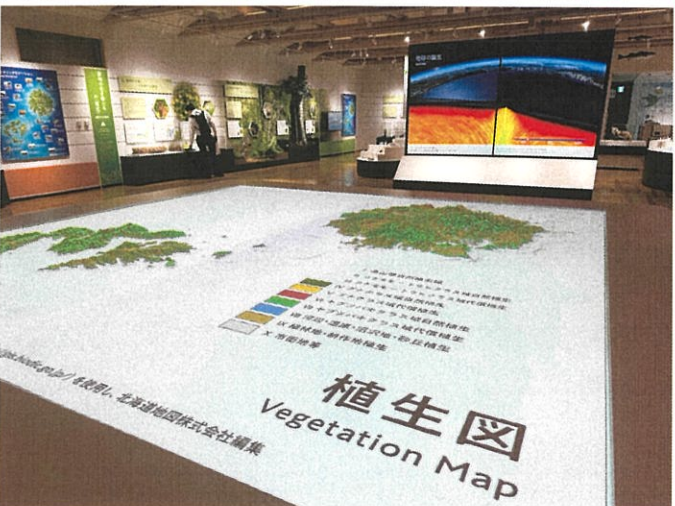
銚子ダム：隠岐片麻岩露頭

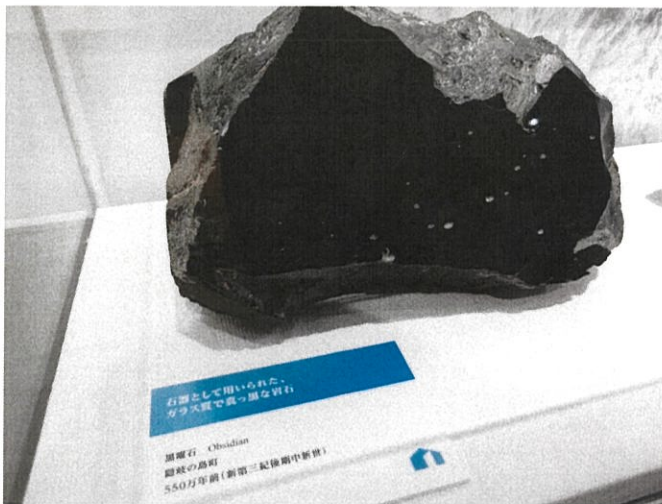
隠岐の島町について

隠岐の島町は、人口12,706人（令和6年4月1日現在）、面積243 km²。特産品は、岩牡蠣で、日本で初めて岩牡蠣の養殖化に成功した。

隠岐自然館について

隠岐の島町の玄関口である隠岐ジオゲートウェイ2階にあり、館内は、「大地の成り立ち」「独自の生態系」「人の営み」の3つのゾーンに分かれている。「大地の成り立ち」ゾーンは、隠岐諸島誕生までの歩みや、奇岩や絶景が生まれる仕組みを紹介されている。「独自の生態系」ゾーンは、ジオラマや剥製標本を交えながら隠岐の陸と海に暮らす生き物の紹介と、なぜ多様な生態系が築かれているか説明される。「人の営み」ゾーンは、3万年前に遡る黒曜石を介した交流や、天皇のご配流や古典相撲など隠岐の歴史文化について展示されている。館内には、プロジェクションマッピングが設置され、地球誕生から現在の隠岐のストーリーが分かりようになっている。さらに、SDGsの展示パネルや地域の高校生たちによる隠岐のオススメグルメなどの展示パネルも設置してある。





隠岐ジオパーク 地域を知るための現地調査

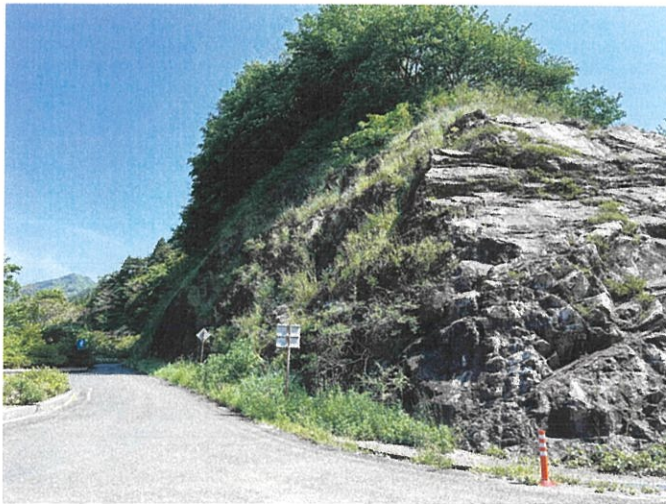
隠岐古典相撲



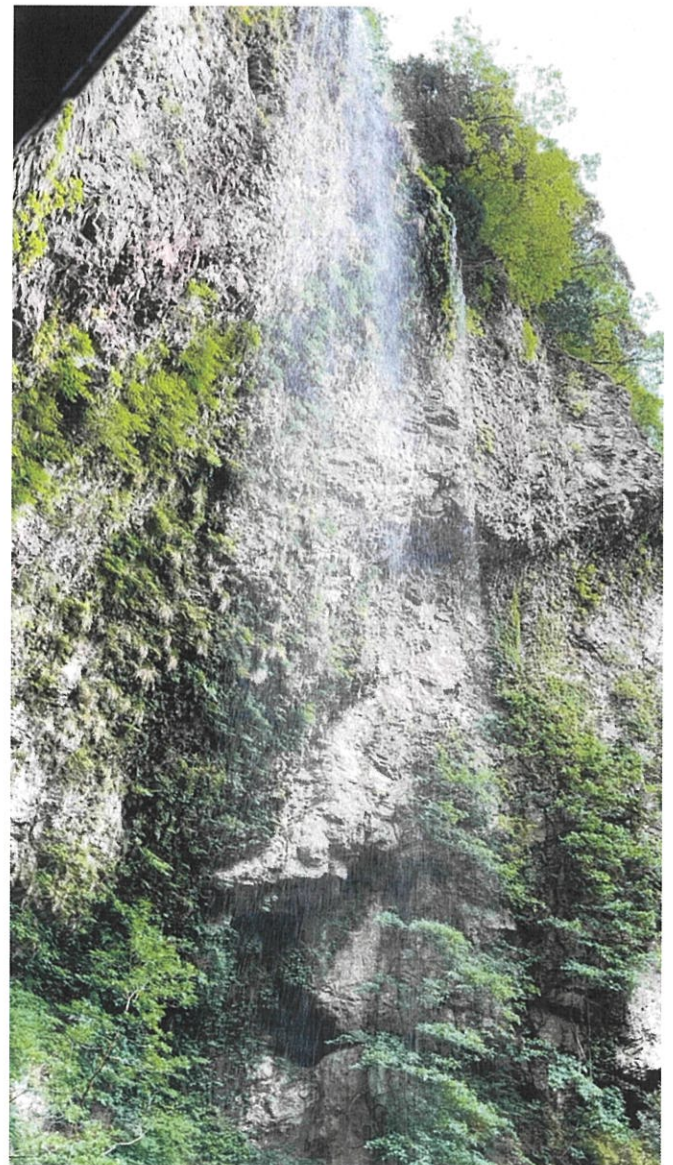
黒曜石を運んだ丸木舟



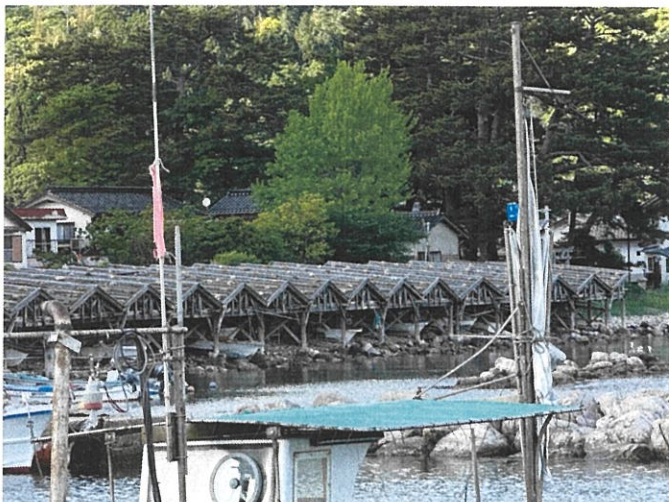
銚子ダムの隠岐片麻岩露頭



壇鏡の滝



都万の船小屋群





樹齡二千年の八百杉（国天然記念物）

主な質疑応答について

Q ジオパークというと地質学、学術的な要素が多く、本市における今後の観光振興や地域振興にどのように展開していけばいいか。

A ストーリーが大事である。地域から地球へ話を展開することが重要である。

Q 観光客は昨年と比べてどのくらい増えているか。

A 昨年比で 100%を超えている。昨年からホテルが 4 軒新規オープンしている。

Q 隠岐自然館について

A 2013 年に認定された隠岐ジオパークを P R するために、町が約 1 4 億円かけて整備を行った。隠岐ゲートウェイの 2 階にある。以前は、近くのビューポートホテルにあったが移転し、2021 年オープンした。プロジェクションマッピングが設置され、隠岐諸島の映像が映し出している。奥には、130 インチのモニターがあり、地球誕生から隠岐諸島の成り立ちの映像を体験できる。隠岐ゲートウェイ 1 階には一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構、隠岐の島観光協会の事務所を併設している。

Q 隠岐自然館の利用について

A 観光客のためのビジターセンターとしての機能のほか、隠岐ジオパークを知ってもらうために、地域の小中学生、高校生なども授業などで利用している。

Q 高校生の海外交流について

A 島の高校生は、世界ユネスコジオパークのネットワークを生かして、海外の高校生との交流事業を積極的に行っている。

Q こどもたちの地域に対する愛着の変化について

A 今までは、隠岐の子どもたちは、大人になって一日も早く島を出たいとみんな思っていたが、ジオパークを活用した地域づくりを行い、世界ジオパークに認定されたことで、今では 6 割の子供たちが島で大人になっても生活したいという調査結果があり、地域に誇りを持っている。

所感

【平石】

今回視察を行った「隠岐世界ジオパークを活用した地域づくり」は、本当に目からうろこというのが、正直な感想である。自然豊かな隠岐諸島のジオパークという地域資源を最大限に生かすために世界認定を目指し、そのことにより世界中、特に欧米や香港などから観光客が訪れるようになった。そのため、ホテルが必要になり、整備することで地域の雇用が増える。また、地域の魅力を発信することで移住者、特に 20・30 代を中心に移住者が増え、地域が活性化している。教育面では、授業で、ジオパークを通して、地域のことを学ぶことでさらに地域に愛着が深まっている。高校生は、世界ユネスコジオパークのネットワークで、香港など海外との交流事業も積極的に行っている。私自身、特に心に残った言葉は、野邊事務長が隠岐で生まれた子どもたちが地域に誇りと愛情を持って「隠岐の出身」であるということ堂々と語れるようにしたいとご自身の体験を通してお話をされたことである。今までは、隠岐の子どもたちは、大人になって早く島を出たいと思っていたが、今では 6 割の子供たちが大人になっても島で生活したいという調査結果の通り、地域に誇りを持っていることは素晴らしいことである。本市を含めた 6 市で構成されている筑波山地域ジオパークにおいて、今回の視察で学んだことを今後の観光振興や街づくりへ参考にしていきたい。

【吉田】

初めに今回の視察に際して、「隠岐ユネスコ世界ジオパーク認定」されている所とはどのようなところなのか、そして認定にあたっては力強いリーダーシップを取られた方がおられるに違いないと思い視察させていただきました。

- ・ 隠岐ジオパーク空港から昼食後「隠岐ジオパーク推進機構」で初めにジオパークの全体像を学ぶ。何故か？全体像を掴むことにより現場でより分かりやすく学ぶことができた。

- ・ 隠岐ジオパーク推進機構の業務執行理事の野邊一寛先生は、

- ◆ 隠岐ジオパークの活動理念は、「子どもたちが隠岐に生まれ育ったことへの誇りと愛情をもって『隠岐の出身』だと言ってもらいたい。」

- ◆ 「島民が隠岐の価値を知り、誇りを持って『隠岐』を伝えてもらいたい。」

先生は、以前は隠岐の出身だということを胸を張って言えなかった。と述懐されました。

こうしたことを通され、霞ヶ浦や筑波山の良さを広く深く学び誇りと愛着を持ち地域連携してジオパークに取り組むことを教えていただきました。また、若い世代をどのように育てていくか、一流企業や県、国ともつながり考えておられました。ジオパークは、「人づくり」との言葉が胸に沁みました。

- ・ さてジオパーク施設の看板はとても重要です。標記内容は機構で考え全てにジオパークのロゴマークを付けて、看板を立てるのは県で実施されていました。

- ・ 玉若洲神社境内にある国指定天然記念物で樹齢約 2,000 年の樹高 38m の巨木に出会いま

した。

・水若酢神社では、隠岐古典相撲の歴史を学び、火山活動によってもたらされた隠岐の黒曜石を求め古くは3万年前から中国地方に流通し、それを運んだ丸木船が展示されている。古墳と神社の関係について学ぶ。

・銚子ダムを望む所の隠岐諸島最古の岩石：隠岐片麻岩を観察。ここで見られる隠岐片麻岩は、隠岐諸島の中でも最も古い約2億5千万年前にできた岩石です。

隠岐片麻岩が教えてくれることは、片麻岩はプレート同士が衝突することで作られる岩石です。隠岐片麻岩と同じく2億5千万年前に形成された片麻岩は、北陸地方や朝鮮半島、中国大陸にも分布します。

このことから、①かつての東アジアで大規模な大陸衝突が発生したこと②日本列島はもともと大陸と一続きであったことが分かります。まさにジオパークの醍醐味がここにあると学ばせていただきました。

【目黒】

隠岐ユネスコ世界ジオパークの視察は、一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構の野邊一寛業務執行理事兼事務局長が終始案内してくださり、大変充実した内容になりました。最初に隠岐ジオパークビジターセンター2階にある隠岐自然館で隠岐諸島の成り立ち、地域の景観、地理、生物、文化、歴史の説明を受けました。隠岐を知ることで、日本列島や日本海の成り立ち、地球規模の環境変化や地球の内部を知る事が出来ると、説明を受けた事により、その後の現地調査が非常に分かり易くなりました。壇鏡の滝や銚子ダムの地層は見た目の迫力に圧倒されましたが、地球の営みにより出来た地層もとても素晴らしいと思いました。また隠岐の島町にはたくさんの神社や歴史的建造物があり、それに伴った伝統文化なども含めたものがジオパークと野邊事務局長が説明してくださいました。説明を聞き、今までのジオパークについてのイメージや固定観念が覆りました。

【根本】

隠岐は日本海西部の離島だからこそ見られる貴重な自然や文化が残っている。その上に成り立つ地域の暮らしや学びを通して日本列島、世界へ、地球へと熱き思いをもって伝えている。その熱き思いが人を動かし、形となり、移住者や観光客も増えている。素晴らしいことだと思います。観光客も昨年比で100%を超え昨年からはホテルも4件増えました。

学びにおいても、世界ジオパークネットワークで交流も積極的に行われている。以前は大人になったら早く島を出たいと思ってた子供たちは今は6割の子どもたちが大人になっても島で生活したいと思っているとの調査結果が出たそうです。筑波山地域ジオパークにおいて、今回の視察で学んだことを今後の観光振興や街づくりの参考にしていきたい。

視 察 先 島根県隠岐郡海士町

視 察 日 令和 6 年 5 月 9 日（木） 9:45～11:20

案 内 者 一般社団法人 隠岐ジオパーク推進機構 業務執行理事兼事務局長 野邊 一寛様

視察内容 ホテル Ento：ジオパークの理念を取り入れたホテルの調査

後鳥羽院御火葬塚・隠岐神社：後鳥羽上皇を祀る神社

明屋海岸：大地の成り立ちと神話の関係

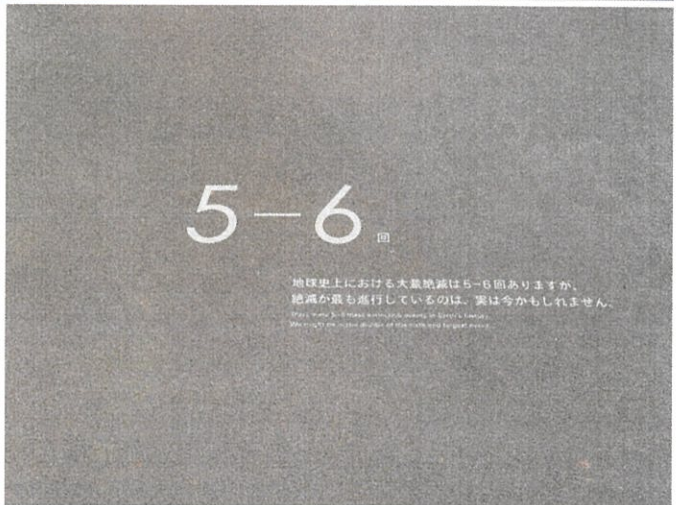
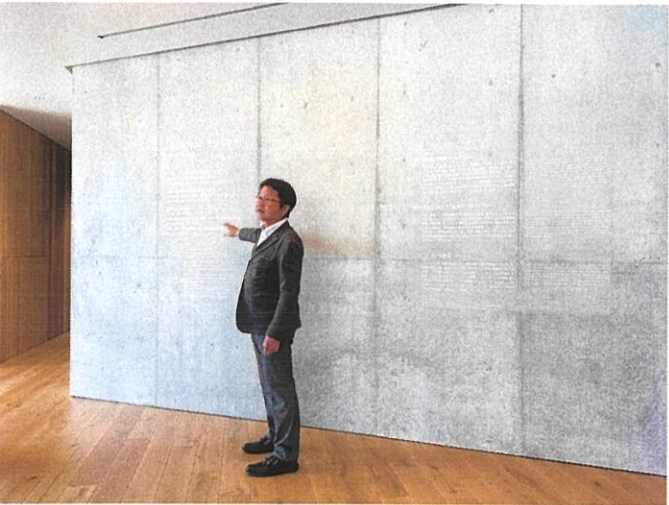
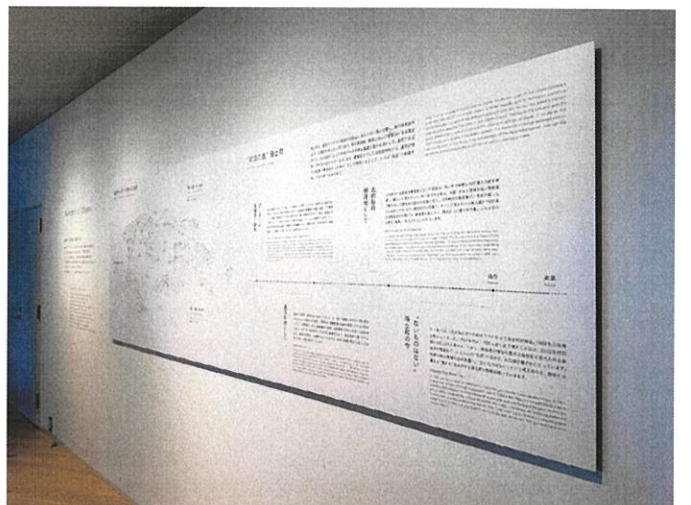
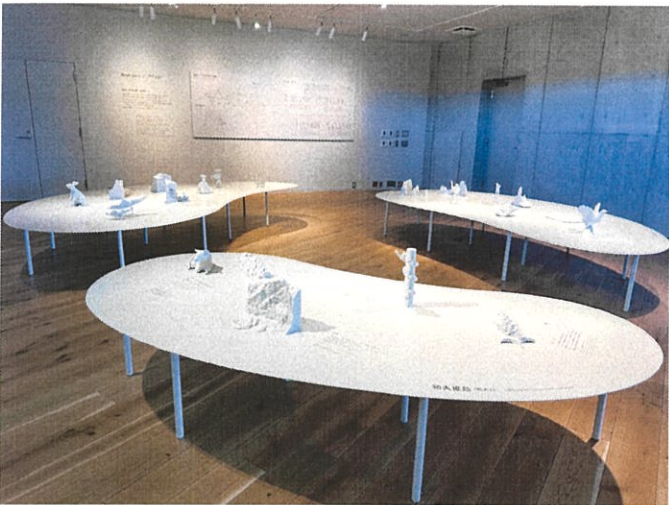
海士町について

海士町は、人口 2,300 人。移住者は 300 人以上で、20・30 代が中心。面積 33.5km² 隠岐諸島の中で 3 番目の大きさ。1221 年、鎌倉幕府を倒幕しようと、承久の乱で敗れた後鳥羽上皇が流罪され、19 年間を過ごした。特産品は、さざえ、隠岐牛など。

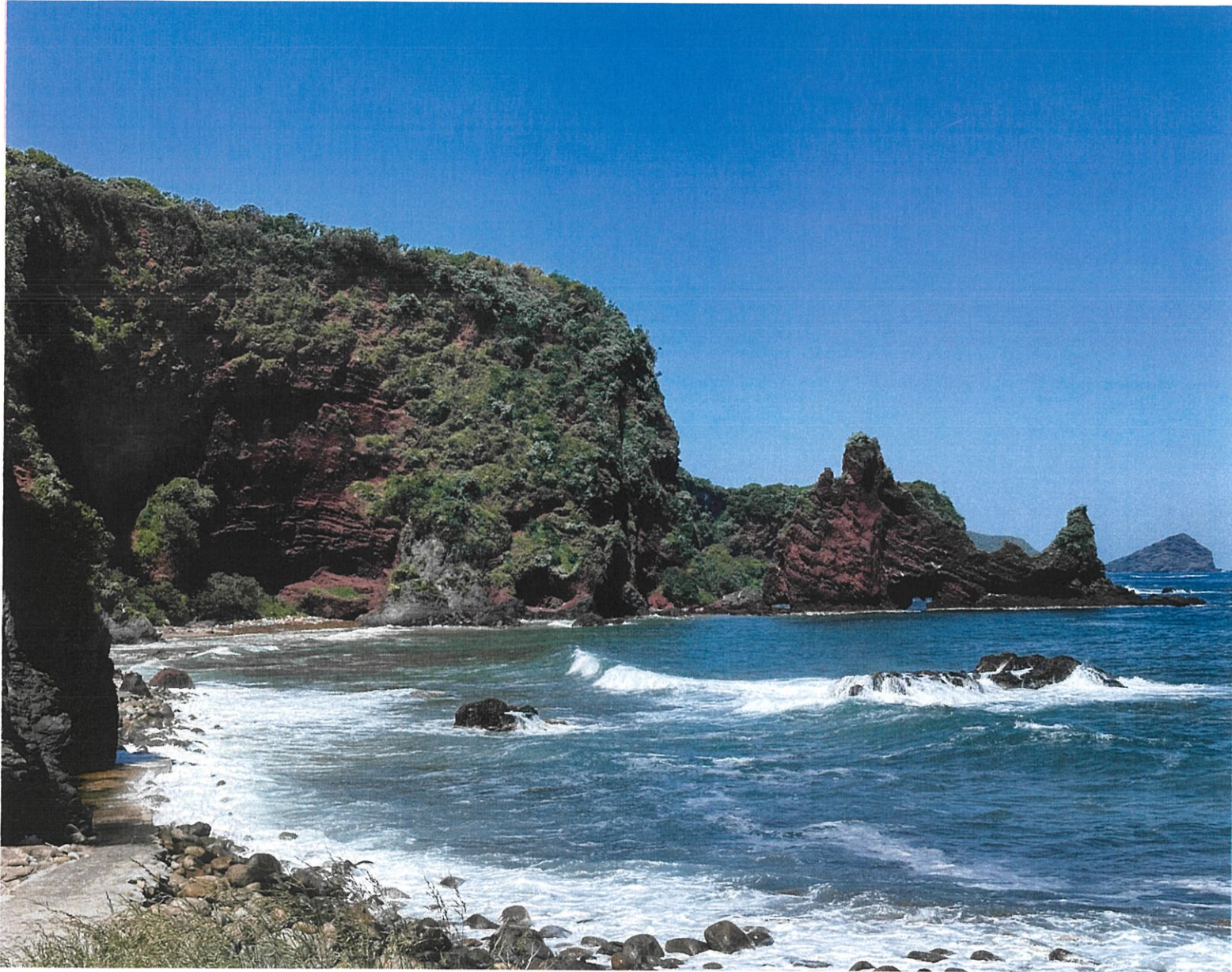
ジオパーク+ホテル Ento について

2021 年リニューアルオープン。地球に寄り添うというジオパークの理念を取り入れたホテル。1 階には、海士町、西ノ島、知夫里島の島前エリア 3 島をテーマとした展示がある。目の前の自然を見ながら、島の成り立ちや地球の歴史を感じてもらうことをテーマに化石も展示。2 階、3 階は宿泊施設。コンクリート打ちっぱなしのシンプルなデザイン。





隠岐ジオパーク 地域を知るための現地調査 明屋海岸



海食崖や海食洞が約 1km にわたって続く景勝地。約 280 万年前の噴火によってできた屏風岩と呼ばれる岩があり、海士町の代表的なジオサイト。

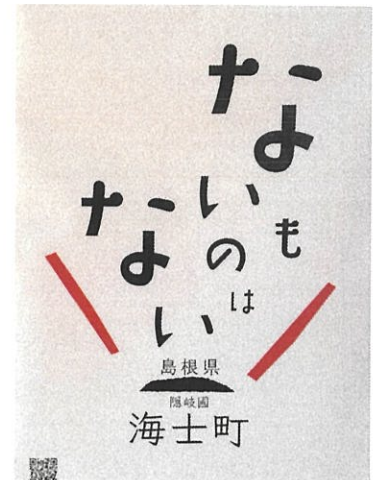
主な質疑応答について

Q 移住者は、何人くらい、年代はどのくらいか。仕事などはどうしているのか。

A 移住者は300人以上で人口の約15%程度いる。20代、30代が中心である。起業している人が多い。

Q 「ないものはない」というキャッチフレーズについて

A 海士町とデザイナーの梅原真氏が海士町を象徴する言葉、島らしい生き方や魅力として、生まれた。何にもない、大事なものはここにあるというメッセージ。安倍総理が、2014年の所信表明でも引用し、海外でも広がりを見せている。



Q 海士町の特徴について

A いわがき春香、隠岐牛。CASという特殊な冷凍技術を平成17年に地場産業振興の切り札として、いち早く導入した。海士で水揚げされた白イカや岩がきなどの魚介類を、鮮度そのままに遠く離れた都会の消費者へ届けている。

Q Ento ホテルについて

A 元々は国民宿舎があったのをリノベーションしてオープンした。従業員は全て移住者である。野邊事務長が従業員の教育を行い、ジオパークについての理解を深めている。Entoの由来は、遠島である。

Q ゴルフ場などリゾート施設などを開発しなかった理由について

A ゴルフ場の開発計画はあったが、バブル崩壊の影響で頓挫したが、結果的に良かった。

Q キンニャモニャセンターに設置してある「窓」について

A ソニーが開発したテレコミュニケーションシステムのこと。2023年に導入され、現在は海士町内に複数台設置されている。キンニャモニャセンターに設置してある窓は、常時渋谷とつながっている。



所感

【平石】

今回の視察のなかで、最も見てみたいと思っていた「ホテル Ento」は、「地球にポツンと」とうコンセプトにあるように自然を感じ、自分を見つめ直す時間と共にゆっくりと過ごす滞在型のホテル。館内には、音楽もテレビもなく、ジオの自然と一体化するような感覚がした。ミシュランガイドやブルージャポんでも三ツ星で紹介されているため、敷居が高い感じがするが、ホテルの庭では、夜には、宿泊客とスタッフ、地域住民など焚き火を囲んで交流を行っている取り組みも良いと感じた。運営している株式会社島ファクトリーでは地域連携DMOで取り組みも時間があれば聞いてみたいと感じた。また、海士町の「ないものはない」というキャッチコピーにあるように、島には、コンビニもなく、他にもないものが多く不便に感じるが、そこを長所として価値を創造し、全国から移住者が集まる地域振興のモデルケースとしている事例は是非とも参考にしたい。お土産品もジオパークによるブランディングを行った商品やおしゃれなパッケージのものもとても多いなど、地域の勢いとパワーをとて感じた。

【吉田】

・隠岐の島町からフェリーで約1時間、海士町にはいる。船着き場の建物には、「自立・挑戦・交流×継承・団結 心ひとつに！みんなでしゃばる島づくり」の看板が大きく掲げられ学校のスローガンのようでもあり、一人一人自立しその人たちが力を合わせた時大きな力になるのかも知れないと私は思いました。

・海士町に入ると目の前にホテル Ento が大きな窓ガラスを設えて海に面して建っています。ジオパークの理念を活かしたホテルで人気も抜群です。この他に、ここ最近新しくホテルが4棟建設されたと聞き及んでいます。まさにジオパークを活用した地域づくりとして観光にも活かされています。

・後鳥羽上皇は、1221年にご配流から崩御までの20年弱の間に約800首もの和歌を残されています。1939年かつて後鳥羽上皇が過ごされた旧源福寺の傍らに隠岐神社が創建されました。

【目黒】

ジオパークの理念（地球に寄り添う）を基盤にしたホテル運営を行っている Ento を見学致しました。ホテルには地球46億年と島前カルデラを主体とした展示が施されておりました。野邊事務局長からは、地域にある地球科学的な価値を持つ地質や地形などの大地の遺産を使って地球の物語を伝える活動もジオパークに当てはまると説明がございました。2022年に後鳥羽院遷幸八百年祭が行われた、隠岐神社は後鳥羽上皇にまつわる史跡等が多数あり、地域に欠かすことが出来ない大切な場所だと感じました。また歴史と観光が密接に関わっていることも強く感じられました。海士町観光協会（キンニャモニャセンター）には、ソニーが開発

したテレプレゼンスシステム「窓」が設置しておりました。常時、渋谷 QWS と繋がっているそうです。（離島における社会課題解決の実証実験として 2015 年から協力している） ゆくゆくは現地に来られない障がい者や高齢者のために活用したいと、野邊事務局長はおっしゃっておりました。

【根本】

人口 2300 人 島にはコンビニもない。そのような島に元々は国民宿舎があったのをリノベーションしたホテル Ento は、世界ジオパークの拠点機能と宿泊機能が一体となった日本初のジオホテルとしてリニューアルオープンしました。海士町のキャッチコピーである「ないものはない」これは、何もないことを魅力とする。

新しい旅の形をホテル Ento では体験できる。外国人観光客や若い人たちの利用が増えてきている。このような事例を参考にどうすればいいのか思い付きではなくコンセプトをしっかり考えて、土浦の地域振のために大いに参考にしていきたい。

興

視 察 先 島根県隠岐郡西ノ島町

視 察 日 令和6年5月9日（木）12:30～16:30

案 内 者 一般社団法人 隠岐ジオパーク推進機構 業務執行理事兼事務局長 野邊 一寛様

視察内容 赤尾展望台：国賀海岸を望む風景、サイト看板の作成について

魔天崖：隠岐を代表する海岸風景、海水面の上昇と侵食について

通天橋：侵食によって創り出された風景

由良比女神社：島前一宮、自然現象と信仰の始まり

鮒引き運河：大正時代に作られた運河、地形と人の暮らしとの関係

西ノ島町について

西ノ島町は、人口 2,532 人（2024 年 4 月 30 日現在）。面積 55.98km² 特産品は、イカ、さざえ、岩牡蠣など。

隠岐ジオパーク 地域を知るための現地調査 通天橋

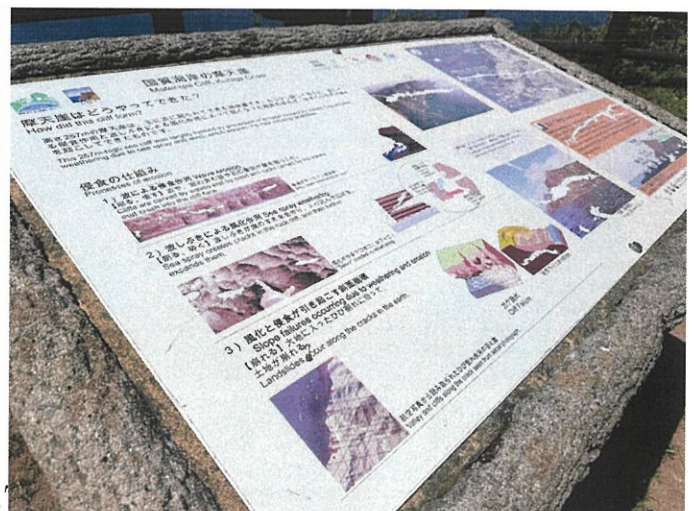


海に大きくせり出した巨大な岩の架け橋は、岩石が侵食作用によって、えぐられた自然の造形美を見ることができる。隠岐最大の景勝地。オキタンポポも珍しい品種。

隠岐ジオパーク 地域を知るための現地調査 魔天崖



257 メートル海食作用によってできた崖では日本有数の高さを誇る。隠岐を代表する景色。



主な質疑応答について

Q レンタサイクルに乗っている観光客をよく見かけるが貸出状況はどうか。

A Eバイクが人気である。はじめに用意した台数では足りずに追加購入した。

Q 公衆トイレの整備状況について

A 公衆トイレは全て洋式化を行っている。ウォッシュレットが整備してあるトイレも増えている。また、きれいにすることを心がけている。

Q サイン看板について

A ジオパーク認定されているので統一デザインで、更新計画を立てて、設置している。

Q 通天橋について

A 駐車場から通天橋まで下り坂で距離があるために、観光客の利便性を考えて、車で降りられる道路を整備した。現在は、タクシーの利用者を増やしていくために、タクシーやジャンボタクシー限定で運用している。国立公園のため、環境省に要望し、整備を行った。

Q インバウンドの取り組みについて

A ミシュランガイドに二つ星、ブルーガイドジャポンには三ツ星で紹介されているなど、海外、特に欧米での評価が高く、医者や大学教授などの富裕層の外国人観光客が多いのも特徴である。外国人のガイドする時は、最低限の説明を行い、後は聞かれたことに答えるようにするなど日本人観光客とは違うように対応するよう観光ガイド育成に取り組んでいる。外国人旅行者の特徴として、日常の生活感があることも重要な要素である。

Q 筑波山地域ジオパークの中でも土浦、霞ヶ浦のアピールについて今後どのように取り組めばいいか。

A 霞ヶ浦は、帆引き船や霞ヶ浦の漁業の歴史、ストーリーをもっとアピールしてはどうか。さらに、霞ヶ浦の海水面が上がったり、下がったりなど、現在の霞ヶ浦ができるまでを地球との変化を語れるような展開を検討しては、どうか。土浦市はつくば市と比べて、元々地元に住んでいる人が多いことも今後の取り組みには有効ではないか。

所感

【平石】

西ノ島町は、隠岐ジオパークの中でも最も有名な魔天崖があり、観光客も隠岐に来たら必ず見学する人気スポットである。最近、Eバイクで島内を観光する方が増加しているとのことで、視察中も何組か見かけた。アップダウンの多い島内を観光目的の女性でも楽に観光を楽しめるで人気とのことである。

ジオパークで霞ヶ浦を今後どのようにアピールをしていけばいいのか質問をしたところ、帆引き船や漁業の歴史、霞ヶ浦の海水面の上下など、現在の霞ヶ浦ができるまでを地球との変化をアピールすることを検討してはどうかと貴重なアドバイスをいただいた。ジオパークは地質の話がメインになりがちであるが、地域のストーリーとして、歴史・文化、植物の歴史などの観点が重要であるという指摘は、今後本市のジオパークに生かしていきたい。今回の視察は、座学をはじめ、現地の案内まで対応していただいた（一社）隠岐ジオパーク推進機構の野邊事務長様に感謝の思いでいっぱいです。そして、土浦の子どもたちが、大人になった時に、土浦に生まれて良かった、土浦出身であることを誇りに思えるよう、土浦の地域づくりに今後もしっかりと取り組んでいきたい。

【吉田】

- ・隠岐諸島は、大小約 180 の島々で構成され、4つの有人島のうち西ノ島・中ノ島・知夫里島の3島を合わせて「島前」、北東の円形の島を「島後」と呼んでいます。後鳥羽上皇や、後醍醐天皇が配流された歴史、北前船の寄港地として栄えた歴史があります。

- ・また、火山活動や日本海の荒波が作り出したダイナミックな地形、魔天崖・通天橋に圧倒されるとともに、北と南の種が共存する生物相が残されているのも大きな特徴であることを学ぶ。牛や馬は放牧され、のびのびと育てられ、牛は7年ぐらいで競りにかけられて近隣で育てられ食用牛となる。

- ・由良姫神社ではイカが大量に採れたことから、自然現象と信仰のはじまりが記される。

- ・大正時代に作られた運河、地形と人の暮らしとの関係について学び、西ノ島町は、イカ・岩がき・サザエの水産物に恵まれ、これらの資源を活用したブランドの確立^{（食）}向けに取り組んでいます。また、船の館が現存している風景があります。

結びに、このように学んだことを本市を含め6市で構成されている筑波山地域ジオパークに活かして参りたいと思います。

3日間熱く語りガイドしていただきました隠岐ジオパーク推進機構の業務執行理事の野邊一寛先生に感謝申しあげ報告書といたします。

【目黒】

隠岐ユネスコ世界ジオパークを代表する、摩天崖、通天橋は絶景に目が惹かれますが

地質、地層の色の変化や波の浸食により出来た珍しい形は、自然の力の偉大さを感じることが出来ました。隠岐ジオパークは「隠岐を盛り上げたい」という思いを持った有志の活動から始まったそうです。隠岐の自然や文化に興味を持って、調べ始めたことが、きっかけで自然と人が集まり、そこから隠岐の面白さに気づき、自分たちがやっていることが「ジオパークの考え方」と共通していると分かった。そして隠岐には世界に通用するものがあることを地域の方々に知ってもらいたいと思うようになり活動が始まったそうです。本市の自然や文化・歴史は隠岐には、かないませんが、土浦市についてもっと興味を持つことを心掛けて、筑波山地域ジオパークも盛り上げて行けたらと思います。

【根本】

西ノ島では、ジオパークの中でも最も有名な摩天崖や通天橋等隠岐に来たら必ず見学する人気スポットです。土浦も日本で2番目に大きい霞ヶ浦や筑波山があります。この視察の3日間野邊事務局長様には大変お世話になりました。最後まで隠岐への熱く強い思いを感じました。今回の視察で学んだことを参考にして土浦の子ども達も「土浦の出身」であるということを堂々と語れる土浦の構築のために取り組んでいきたい。